

さいたま市議会議員 出雲けいこ

立憲民主・無所属の会さいたま市議団

さいたま市議会レポート

2025 winter

発行／さいたま市議会議員 出雲けいこ事務所

さいたま市西区内野本郷448-9-201

TEL 048-607-9593

FAX 048-715-0919

E-mail izumokeiko@outlook.jp

HP <https://www.izumokeiko.com/>

こころにっこの さいたま市へ



活動報告 / ご相談 連絡先
Instagram



2024年11月27日～12月20日 24日間 開催されました。

市長提出議案 63件を原案通り可決・同意し閉会しました。

補正予算から

始まります

1か月児健診の一部助成が4月から開始予定です。乳児の疾患を早期発見・早期治療につなげ、育児への不安などの対応にも結びつけるよう、受診しやすい体制づくりを要望しています。

文教委員長報告のために
本会議で登壇



さいたま市
みんなのアプリ

さいコイン（デジタル地域通貨）決済でポイント（たまポン）還元へ

ポイント還元期間 2月～4月 / ポイント利用期間 3月～5月

ポイント利用は還元期間終了後 1 か月程度を予定

ポイント（たまポン）付与上限：30,000P（3万円相当）



アプリを
ダウンロード

みんなのアプリに関する

相談カウンターを設置しています

- ・スマートフォンの基本動作
- ・さいたま市みんなのアプリの使い方

各区役所

毎週 火・木 曜日（祝日を除く）

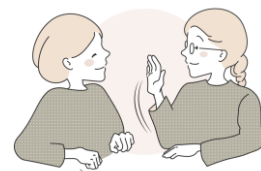
9時～17時（最終受付は16時30分）

一般議案から

- * 児童相談所の一時保護施設の運営に、こどもたちの意見や気持ちを尊重した支援をするために権利擁護の向上を目的とした条例の改正
- * 市営住宅の入居条件に、配偶者からのDV被害者や犯罪被害者の入居者資格の拡大するための改正
- * 市職員の初任給を引き上げ、市職員・任期付職員、教職員、市長などの特別職、議員の各種手当などを改定

手話言語条例 制定に向けて

「手話は音声言語である日本語と対等な一つの言語」との認識と理解がより一層深まるように、またろう者とろう者以外の者とが共生する地域社会の実現を目指し、市議会内にプロジェクトチームの協議が開始されました。1月中に条例素案をもとに関係団体へのヒアリングなどを行い、その後、パブリックコメントを実施し、6月定例会への上程に向けて取り組んでいます。



水道水は安全です。安心してお飲みください。

さいたま市が供給している水道水でPFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)・PFOA(ペルフルオロオクタン酸)は、国の定める暫定目標値50ng/Lをすべて下回っています。水質基準項目もすべての項目で基準を満たしています。



検査結果

さいたま市では、2021年度から浄・配水場の水と水源に使われる深井戸の水について、PFASのうち、PFOS、PFOAの定期検査を実施しています。今年度からは、浄・配水場の水について、PFOS/PFOAの検査回数を増やし、PFHxS(ペルフルオロヘキサンスルホン酸)の検査を開始し、監視体制を強化しています。

埼玉県では、県営浄水場から水道事業体へ供給している水のPFOS・PFOAは、2020年度から浄水場の原水・浄水の検査を開始し、2022年度からは給水先の検査も実施し、国の定める暫定目標値を大幅に下回っています。

市内河川における有機フッ素化合物(PFOS/PFOA)の検出

現在、西区内では検出されていません。

浦和区上木崎2丁目地内の事業所敷地内で、湧水(地下水)から18,000ng/L(同指針値の360倍)のPFOS・PFOAが検出され、この湧水が天王川雨水幹線に放流されていることが判明しました。当該事業所では、過去・現在においてPFOS・PFOAは使用しておらず、現時点では湧水の汚染原因は不明であり特定できていません。国や県などとも協議をしながら、毎月1回モニタリングを実施して調査を進める予定です。

しかしながら、発生源近隣(半径200m)の浦和区上木崎2丁目、3丁目・大宮区北袋町1丁目にお住まいの方は、井戸水にPFOS/PFASが含まれている可能性があるため、井戸から汲み上げた井戸水は飲まないでください。

環境対策課 問い合わせ専用 ☎ 048-829-1460

*井戸水のPFOS、PFOAの検査される場合は、国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けた水質検査機関に依頼してください。



PFAS関連の
問い合わせページ

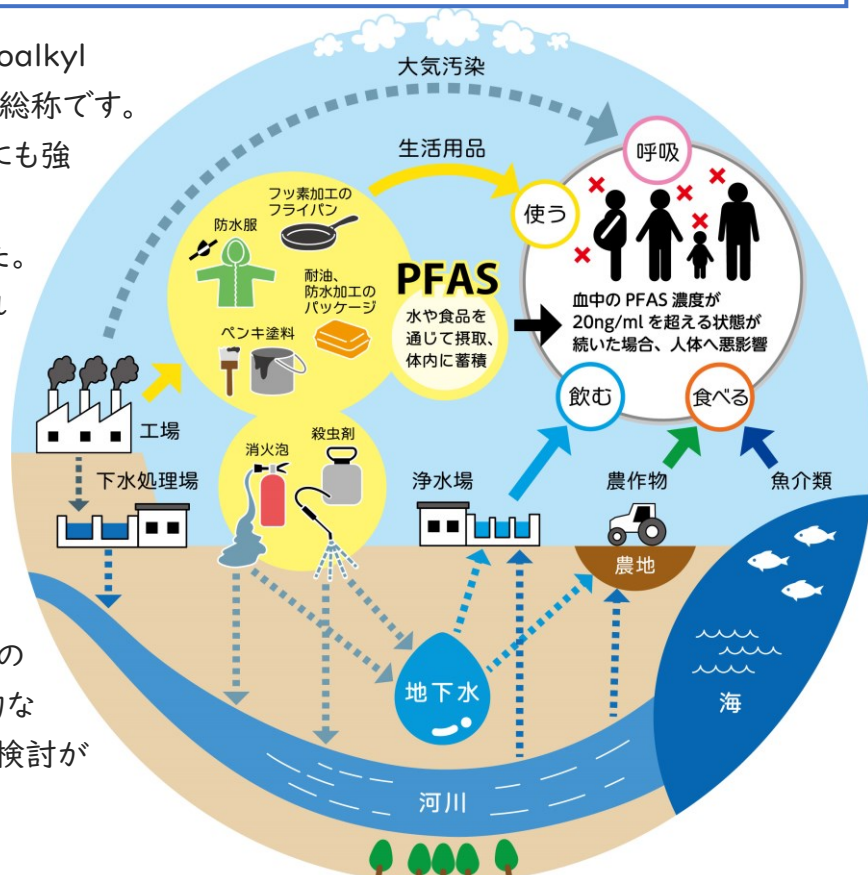
市内の事業所で、個人の検体を受け入れ可能な水質検査機関は、

日本総合住生活株式会社(桜区田島7-2-3 ☎ 048-714-5001)

※PFASとは、「Perfluoroalkyl and Polyfluoroalkyl substances」の略。1万種類以上の化学物質の総称です。

PFOS/PFOAは水や油をはじく効果があり、熱にも強いことから、1940年頃からフライパンや半導体、包装紙、泡消火薬剤など、幅広く使われてきました。

しかしながら、2000年頃から有害性が指摘されるようになり、難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質もあり、環境や食物連鎖を通じて人の健康や動植物の生息・生育に影響を及ぼす可能性があることから、国際的に廃絶などの対策が採られています。日本ではPFOSは2010年、PFOAは2021年に製造・輸入などが原則禁止されました。どの程度の量が身体に入ると人への健康に影響が出るのかについては、いまだ確定的な知見はなく、現在も国際的に様々な知見に基づく検討が進められています。



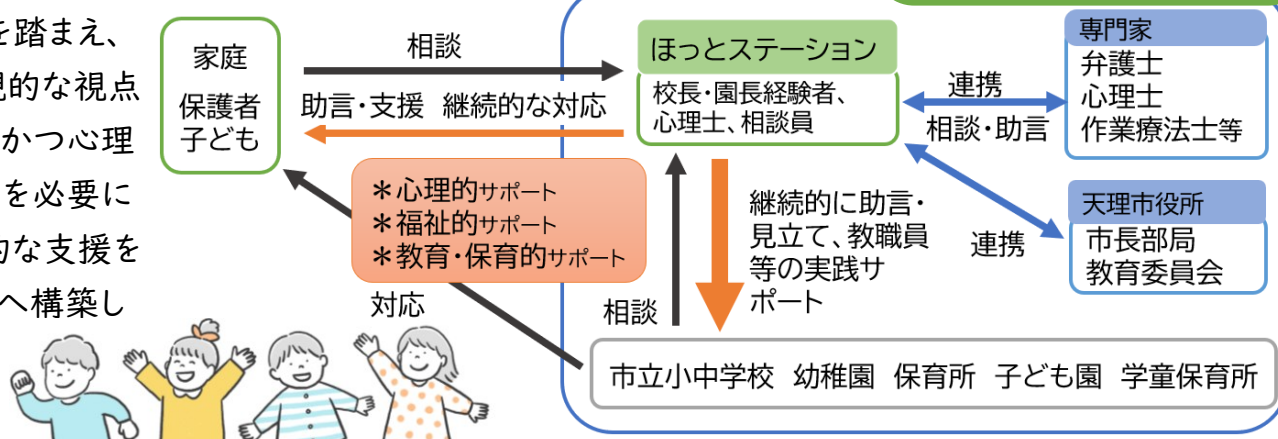


奈良県天理市「子育て応援・相談センター ほっとステーション」から学ぶ

天理市が2023年度に教職員や保育士を対象に行ったアンケートから、約7割が保護者対応と授業や保育の両立に悩み、約2割が保護者への対応に心身の疲労を経験していることがわかりました。現場の負担軽減をすることが教育や保育の充実につながると考えられました。そういったことから保護者からの要望や苦情を学校、保育現場ではなく、ほっとステーションが受ける体制ができました。保護者からの教育・保育現場でのトラブル、先生や学校・園への意見や要望、子どもの学びや育ち、子育ての不安や悩みなどの相談を、子育ての不安や悩みなどの相談を、「こどもまんなか」の視点で、校長・園長経験者、心理士・相談員が専門スタッフとして常駐し相談を受けています。

子ども・子育てを支えるために、必要な施策を！！

家庭ごとに生活や子育ての背景を踏まえ、専門的・客観的な視点から、福祉的かつ心理的なサポートを必要に応じて重層的な支援を子ども・家庭へ構築していきます。



現場の先生たちにはそれぞれの特性を持った子どもたちに向き合えるような支援を。また、授業や保育に専念できる職場環境を整えるための助言などを行っています。

合わせて、2026年に本市でも開校予定の学びの多様化学校に活かすため、京都市の洛風中学校へも視察へ行きました。

ニュージーランド ハミルトン市 姉妹都市提携40周年記念友好訪問・行政視察 報告

市長訪問団と共に、議員団の一員として、姉妹都市提携40周年を迎えるハミルトン市を訪問しました。

ハミルトン市役所にてポーラ・サウスゲート市長の表敬訪問や在オークランド日本国総領事館、マタマタインターミディエイトスクール(MIS)、スタートアップ企業を中心に企業集積を図ったワイカトイノベーションパーク、ニュージーランドを代表する庭園の一つハミルトンガーデنزなどを訪問し、40年続いてきた交流を深め、両市の発展に向けて友好親善を一層深めるために、市民交流や文化的、経済的な交流、また教育的な交流と重層的な取り組みが求められます。

マタマタインターミディエイトスクール



毎夏に各市立中学校から1～2名の生徒を10日間派遣しています。ホームステイや中学校での語学研修、交流を受け入れてくださっているMISを訪問しました。ハミルトン市を含めニュージーランドでは、先住民のマオリ族をはじめ、近年は移民も増えており、国籍や言語、文化が異なる生徒が学んでいます。

派遣される生徒は学内や一緒に交流に行った生徒間での発表に留まっているため、帰国後に自身の経験を共有することや振り返る機会をさらに作っていくこと。また、ハミルトン市の子どもたちを本市でホームステイなどの受け入れを行っているため、生きた国際交流の一環として本市での受け入れをすることは、さいたま市で学ぶ子どもたちや市民にとっても異文化とふれあう機会となり、取り組みの拡大が必要です。



有志の生徒によるマオリの踊り



入り口には世界のことが掲示



あなたと一緒に手を取りあってつながるさいたま市を 社会全体で子ども・子育てを支える



市政に関するみなさんのご意見・ご要望をお聞きかせください

出雲けいこ事務所 Fax 048-715-0919までお送りください。こちらからもお受けしています→



お名前
ご住所

お電話

お名前や連絡先が無記載の場合は、回答することが困難になりますのでご記載ください。

2024年 皆さんからお聞きしたご意見やご相談（抜粋）

- *隣家や空き家の草木が伸びてきて困っている
- *信号機・横断歩道の設置、道路の拡張、冠水など
- *無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を学ぶ機会を
- *子どもたちが使うタブレットやデジタル機器の弊害について
- *延長・休日保育、病児保育が足りない
- *子どもたちの遊ぶ場所の充実を

など、様々なご意見やご相談をいただきました。今後もみなさまからいただいた声を市政に届けていきます。



出雲けいこ プロフィール

京都市生まれ、立命館大学 国際関係学部 卒業。



きなこ

子どもが1歳の時に、東日本大震災を経験し、家族だけで子どもたちを守ることに限界があり、地域・社会全体で子どもを守り、支えていくことが必要だと考えるようになりました。

阪神淡路大震災・東日本大震災、令和元年東日本台風（台風19号）を経験、日頃の備えの必要性を痛感し防災アドバイザーとしても活動中。台風19号時は災害復旧ボランティア活動にも参加。

趣味は梅干しやお味噌づくり、読み語りボランティア、多言語活動など。

埼玉県冒険遊び場づくり連絡協議会 プレイリーダー基礎研修終了。

【所属】立憲民主党、気候危機・自治体議員の会、WOMAN SHIFT（届きづらい女性の声を政治につなぎ、政策実現することをミッションとする団体）、若手議員の会会員、生活クラブ生協組合員。



文教委員会で進行中

2月定例会は、2月4日～3月13日までの38日間(予定)です。